

第48回

合氣道

東海大学合氣道演武会

● 日 時 : 平成26年11月 3日 (祝)
午後1時00分より

● 会 場 : 東海大学柔道場

合気道について

合気道とは、植芝盛平先生(1883~1969)により大正末期に発表された武道であります。これは、日本古来の各種の武術からの精髓をとり、これに植芝先生独自の修行を加えたものであります。そして今の様に、合気道が人々に浸透してきたのは戦後になってからで、それまではごく一部の人のみしか知らないものでした。

合気道は自然の理合で全ての技が組み立てられています。それは、投げ技、押さえ技、捕り技、当て身技などがあり、取り入れられております。また、徒手に剣をとれば、威力を発揮します。この武道の最も大きな特色は、技をかける場合に相手とぶつかることなしに、相手の力を流して相手を制することにあります。合気道は純武道の建前をとっているため、稽古方法は試合形式をとらず、反復稽古によって行います。立ち技、座り技、表技、裏技、徒手対徒手、徒手対武器、武器対武器、半身半立ちというように、あらゆる場合を想定して色々な技を鍛練します。技の数は約三千余りといわれ、その基本技・変化技を含めると1万余りといわれます。稽古方法は、昔の修行と同様に、あらゆる技を身につけると共に、精神を鍛えるものです。

師範挨拶

東海大学合気道部指導部

内田伸治

松下秀司

小山一敏

山下陽三

第60回東海大学建学祭行事の一環として、今ここに第48回東海大学演武会を開催出来ますことは誠に喜ばしい次第であります。

御承知の事とは思いますが、学生合気道は全国で約200校を超えるまでに発展し、それぞれの活動を学内外に繰り広げております。

当部も昭和40年4月に発足し、本年をもって50周年どう年を迎えていますが、当部は現在学内の「部」としての活動は勿論のこと、学外即ち合気道界の場においても地道に活動・活躍しております。

本日は部員諸君の日頃の稽古の成果を披露致したく存じます。

皆様には、よろしく御高覧の程と合気道及び当部への深い御理解とそして今後のご協力と御鞭撻の程を切に御願ひ申し上げます。

尚、当部員諸君には日頃の稽古の成果を真摯な態度で本演武会に遺憾なく発揮されることを切望致します。

演武次第

司会 佐藤 直碧

☆開会の辞

東海大学湘南校舎体育会合気道部

副将 印南 光

☆主将挨拶

東海大学湘南校舎体育会合気道部

主将 長堀 将也

☆来賓紹介

☆演 武

1、稽古法
(1年生)

田代 旭 関根 誠隆 原田健太郎
佐藤 直碧

指導 石黒 正隆

2、掛かり稽古
(2年生)

石黒 正隆 田代 旭 山梨 浩美

立会 山口 大貴

演武者紹介

□湘南校舎

1年生演武者	関根 誠隆	原田健太郎	佐藤 直碧
2年生演武者	石黒 正隆	田代 旭	山梨 浩美
3年生演武者	谷口庸太郎	山口 大貴	北村 栞
4年生演武者	長堀 将也 永久保花梨	印南 光	佐藤 駿丞